第７回　市民活動団体交流会　報告書

日　時　平成３０年２月１７日（土）12:30～16:３０
場　所　丸子ふれあいステーション　３階会議室

平成２９年度　第１１回　丸子地域協議会

平成 29 年度市民活動団体交流会　次第

(兼平成 29 年度わがまち魅力アップ応援事業実績報告会)

＜わがまち魅力アップ応援事業実績報告　パネル展示とプレゼンテーション＞

場 所：ふれあいステーション 3 階会議室

12:30	**開場** パネル展示発表開始　（自由閲覧）
12:45	**オープニングセレモニー** 「雅楽の演奏復活の会」の皆さんによる演奏　　曲：「越殿楽（えてんらく）」
13:00	**開会**　（実行委員会副座長） **あいさつ**　（丸子地域協議会会長／交流会実行委員会座長）
13:10	**平成 29 年度わがまち魅力アップ応援事業報告会（全 20 団体／1 団体 5 分以内のポイント発表）** **【実施報告団体（H29 補助金受給団体）】(発表順)** **＜平成 29 年度新規団体＞** 1)鹿教湯温泉 100 年ブランド創造プロジェクト「信州うえだ健幸都市推進事業実行員会」 2)上田市防災士等連絡協議会 3)鹿教湯元気プロジェクト実行委員会 4)霊泉寺温泉自然 JUKU プロジェクトアウトドア部 5)「西内時報」の会 6)上田グローカルネットワーク **＜実施継続団体＞** 7）中丸子歴史研究会 8）雅楽の演奏復活の会 9）チームあったかい輪 10）飯沼自治会
14:00	**休憩　（10 分間）** 11)石井夏祭り実行委員会 12)中丸子自治会下組分会 13)信州じゃ～麺研究委員会 14)ふれあい広場の会 15)まるこベルシティまつり実行委員会 16)信州国際音楽村公園バラの会 17)下和子素浪人の会 18)尾野山史跡めぐり協議会 19)ゆうあいまるこ 20)中丸子やまびこ会
15:00	**質疑・応答**
15:10	**休憩　（10 分間）**
15:20	**テーブルごとの討議（交流）** ※事業を実施して得たこと、苦労したこと、それぞれの団体の活動が地域の中でどのように活かされているか、どのように定着をさせていくか、あるいは地域との関わりをいかに見つけていくか　など
16:00	**テーブル発表**
16:20	**まとめ・総括**　（交流会実行委員会座長）
16:30	**閉会**　（交流会実行委員会副座長）

第７回　市民活動団体交流会　参加団体名簿

	団体名	応援事業 採択年度	報告団体	参加者数
1	ゆうあいまるこ	25 年度		1
2	中丸子やまびこ会	25 年度	○	1
3	下和子素浪人の会	26 年度	○	2
4	尾野山史跡めぐり協議会	26 年度	○	2
5	中丸子自治会下組分会	27 年度	○	1
6	信州じゃ～麺研究委員会	27 年度	○	2
7	ふれあい広場の会	27 年度		1
8	まるこベルシティまつり実行委員会	27 年度	○	1
9	信州国際音楽村公園バラの会	27 年度	○	1
10	中丸子歴史研究会	28 年度	○	1
11	雅楽の演奏復活の会（オープニング演奏）	28 年度	○	1(+6)
12	チームあったかい輪	28 年度	○	3
13	飯沼自治会	28 年度	○	1
14	石井夏祭り実行委員会	28 年度	○	1
15	鹿教湯温泉１００年ブランド創造プロジェクト「信州うえだ健幸都市推進事業実行委員会」	29 年度	○	1
16	上田市防災士等連絡協議会	29 年度	○	3
17	鹿教湯元気プロジェクト実行委員会	29 年度	○	1
18	「西内時報」の会	29 年度	○	1
19	上田飯沼史学会	20 年度	○	1
20	小鍋立ての会	21 年度	○	1
21	独鈷山千本櫻の会	21 年度	○	1
22	箱山城・桜ロードの会（2 回目）	25 年度	○	2
23	霊泉寺温泉自然 JUKU プロジェクト　アウトドア部	29 年度	○	1
24	上田グローカルネットワーク	29 年度	○	2
25	その他（個人参加・傍聴）			3
26	丸子地域協議会委員			11
27	丸子地域協議会事務局職員			4
	計			51（+6）

オープニングセレモニー（「雅楽の演奏復活の会」の皆様）

曲「越殿楽（えてんらく）」

挨　拶

＜丸子地域協議会　久保田和英会長＞

みなさん、こんにちは。雪も止みまして、晴れ間も見えるようになりました。今回は第７回を迎えますが、私も地域協議会に入り同じように歴史を重ねて参りました。

魅力アップの活動の一番の原資となります補助事業が、平成３２年３月に打ち切られます。それまでの間に皆さん沢山出していただいて丸子地域を良くしていただきたいと思いますので宜しくお願いします。５年間で２００万円というお金は使い勝手が良いです。地域協議会で承認されれば使えますので、地域を良くしていただきたいと思います。あと３年しかありませんので、丸子地域を良くするために知恵を出し合って新しい事業を始めていただきたいのが私の願いです。本日は宜しくお願いします。

＜第７回市民活動団体交流会実行委員会　斎藤明座長＞

皆さん、こんにちは。只今ご紹介いただきました、市民活動団体交流会実行委員会　座長を務めさせていただいております、地域協議会の委員の斎藤明と申します。宜しくお願いします。

先程久保田会長からもありましたが、天気予報では昼頃から大分雲行が怪しい予報でしたが、天気も良くなって良かったなと思っております。

今回ご案内させていただきましたところ、お忙しいところ多くの方にお集まりいただき情報交換の機会を設けさせていただくことができたことは、今後の丸子地域の活動・活躍・発展ということについて非常に大きな意味を持つことだと考えておりますので、本日は限られた時間ではございますが、是非有効な時間としていただくようお願いします。

この後の内容ですが、実績報告会で発表・報告していただきたい事項は、①事業の目的、②何年目の補助事業か、③今まで事業を遂行する上で発生した問題や課題、④事業や団体の特徴、⑤市民へのイベント周知や広報をどのような方法をとられているか（無料であればその旨加えて）。

発表終了後、質疑の時間をとりまして、各テーブル毎の意見交換へと入っていきます。本日は参加団体が多いので、テーブル討議の時間は４０分程度とさせていただきます。テーブル討議の中では団体の活動や内容については資料やパネル展示、発表などで概ねカバーできていると思われますので、なるべくコンパクトな自己紹介していただき、あとはテーブル毎の情報交換に時間

の大半を費やしていただきたいと考えております。

本日は「まるこ福祉会」様の手作りクッキーをご用意させていただきましたのでご自由におとりいただいて、有意義な情報交換の場としていただければと考えておりますのでよろしくお願いします。

＜平成 29 年度わがまち魅力アップ応援事業実績報告会＞

平成 29 年度のわがまち魅力アップ応援事業補助金受給団体全 20 団体が、以下の順番にて、事業の進捗状況やポイント、PR したいことなどを、それぞれ 5 分程度のプレゼンテーションにより報告しました。

この実績報告会は、補助金事業について、それぞれの市民活動団体が市民に直接その実績や事業の進み具合を報告する機会を兼ねています。

＜平成 29 年度新規団体・事業名＞

1) 鹿教湯温泉１００年ブランド創造プロジェクト「信州うえだ健幸都市推進事業実行委員会」
【健康の里発～健やか・幸せ　健幸実感事業】
2) 上田市防災士等連絡協議会　【上田地域防災・減災対策自助事業】
3) 鹿教湯元気プロジェクト実行委員会　【鹿教湯元気プロジェクト】
4) 霊泉寺温泉自然 JUKU プロジェクト　アウトドア部
【アウトドアスポーツが楽しめる温泉地の発信＆ネイチャーイベント開催事業】
5) 「西内時報」の会　【「西内時報」復刊事業】
6) 上田グローカルネットワーク　【地域と世界のかけ橋プロジェクト】

＜実施継続団体・事業名＞

7) 中丸子歴史研究会　【シルク繁栄今昔物語事業】
8) 雅楽の演奏復活の会【歴史と文化の復活プロジェクト】
9) チームあったかい輪　【暖かで豊かな地域づくり　生きがい、ふれあい地域多機能ステーション事業】
10) 飯沼自治会　【中城ほたるの里整備事業】
11) 石井夏祭り実行委員会　【子ども相撲＆盆踊り地域交流事業】
12) 中丸子自治会下組分会　【ベルシティ地域交流（りんご祭り）事業】
13) 信州じゃ～麺研究委員会　【新グルメ（信州じゃ～麺）で地域活性化事業】
14) ふれあい広場の会　【ふれあい広場づくり事業】
15) まるこベルシティまつり実行委員会　【まるこベルシティまつり】
16) 信州国際音楽村公園バラの会　【信州国際音楽村公園花壇整備事業】
17) 下和子素浪人の会　【地域の史跡整備と伝承】
18) 尾野山史跡めぐり協議会　【尾野山史跡めぐり遊歩道の整備】
19) ゆうあいまるこ　【共生のできる地域づくり】
20) 中丸子やまびこ会　【中丸子親水広場整備事業】

＜ご質問・ご意見＞

市民活動団体のプレゼンテーション後、ご意見をいただきました。

ご質問１）「雅楽の演奏復活の会」さんにお聞きしたのですが、公民館跡から雅楽器が出てきたということですが、その理由を調べておりましたら教えてください。

ご回答１（「雅楽の演奏復活の会」様））以前の公民館が耐震ゼロということで建替したのですが、その物置に入っていました。中丸子の大国諏訪神社に雅楽を奉納したとの奉納書もありますので、製糸関係で賑わっていた頃かそれ以前に雅楽器が寄附されたものではないかと思われます。丸子町誌を見ますと装束を着た写真があり、宮内庁から講師に呼んで練習した記述もあります。詳しい経緯は、これから「中丸子歴史研究会」にお願いしながら調べられればと考えております。

お願い１）国に「日本遺産」の制度があり、鹿教湯温泉も手を挙げたいと歴史を調べておりますが、東内は上小地方でも早くに稲作が始まったようで、田ができ人が集まり法住寺ができたらしい、そこに和尚が集まり近くに温泉がある、温泉は健康に良いということで「寺湯」ができたのも法住寺があったからだろうという想像ですが、寺湯ですから当時は選ばれし者しか利用できなかったようです。霊泉寺を利用できない人が鹿教湯に来たのではないか、という想像をしているところですが、問題は東内の歴史が判らない。丸子町誌では用水の現状を調査したレポートがありますが、何故東内に早くにできたのかまでは調べていない、それを調べた松本の方がいましたがお亡くなりになりお話をお聞きできない、更に調べますと玉川神社が東内に２つありますが渡来人が祀ったようで、渡来人が稲作をもってきたのではないか、というのが私の想像です。山本さん（下和子素浪人の会）にもお願いしておりますが、皆さんの中で情報がありましたらお寄せください。

ご質問２）「まるこベルシティまつり実行委員会」にお聞きしますが、レジメにありますお祭りのテーマ「歴史を紡ぎ、未来へつなぐ」とありまして私も大切なことだと思っております。鹿教湯温泉も若月俊一先生が鹿教湯の人達と行った「集団健康保養」の偉大な歴史がありますが、若い世代がいろんな人からお知恵をいただいて発展させた上で社会に貢献していかなければと思っておりますが、若い世代をどのようにして動かしていくか、若い人達に先代の人達が押し付けるような形だと負のレガシーとなりますが、良い形で歴史を紡いでつないでいけば良い物にできると感じています。実行委員会を組織していく中で若い人達をどのように動かしていくか、お知恵をいただければありがたいです。

ご回答２（「まるこベルシティまつり実行委員会」様））丸子修学館と長野大学の生徒に参加していただいておりますが、昨年からの試みとして長野大学の生徒には企画段階から関わっていただいております。それまでは介護

補助までやっていただいていましたが、メンバーの中にそば打ちをやっている方がいまして、お祭りに参加したいとの意見があり、それまでのボランティアに加えてイベントにも参加していただきました。企画段階から若い知恵を貸していただくことがうまくできればやる気になってくれるかと思っております。

＜テーブルごとの討議・発表＞

ご自身の団体の活動について、あるいは今まで活動をしてきて得たこと、苦労したことなどについて、テーブルごと自由に、ざっくばらんに討議、意見交換を行いました。

【第１テーブル発表】

上田市中央で魅力アップ事業をされている青柳さんをご紹介（「街と自分の『伝えたい！』を伝え隊」。インターネット動画で毎週金曜日に地域のお知らせを配信）。

広報活動の成果について、「チームあったかい輪」さんからは、若いお母さんはスマホで募り、更に口コミで多くの方が集まってくれて新しいグループが立ち上がった、ある程度の年齢の方だとチラシや地方紙への掲載、「飯沼史学会」さんは古文書を読みつつ、パソコンでまとめるのが必要で両方できる人材を集めるのが難しい、「ゆうあいまるこ」さんは外国籍の方を対象としていてコミュニティに流すとすぐに広まる、ネットも活用している、ただコミュニティのメンバーが決まっていてそれ以上広めようとすると難しい、「信州国際音楽村公園バラの会」さんは講習会に参加された方へチラシを郵送したりラジオで放送している、「尾野山史跡めぐり協議会」さんは上田市広報に掲載している、とのことです。

【第２テーブル発表】

「得たこと、苦労したこと」は、これからの人材集めと育成を続けること、「地域でどのように生かされていること」は今回の交流会で得た情報を活動の中で活かしていきたい、「どのように定着させていくか」は今後ソフト化にしたい、当て職で行う、「地域との交わりをいかに見つけていくか」については他団体に連絡を取りたい場合などのために、今回の交流会で代表者の連絡先を載せて欲しいとのこと、一般参加者から今回の交流会の感想について多くの団体が参加していて驚いたとの意見でした。

【第３テーブル発表】

運営スタッフが高齢となっているので後輩が興味を持てるよう工夫していきたい、郷土博物館や図書館などで調べものをするが、それ以外の資料を集めるのにとても苦労している、女性や子供も参加できるように進めていきたい、

今後の資金をどうするか、運営面でも大変だが次の人へうまく受け継いでいきたい、行政との協力がとても難しい、ということで、課題は「人とお金」で夢も希望もあるが資金をどうやったら運営できるのか、ということでした。

【第４テーブル発表】

一番の問題は、「資金と後継者の問題」でした。事業の継続・定着については、補助金がなくなった後どう運営していくか、事業を立ち上げた際は中心メンバーが地域で育った方が多く、大した報酬がなくてもやってきていたが、若い人達に受け継いでいくのが難しい、ほかには特に西内は小学校の人数も減っていて外部からの移住、そのためには働き口を増やす必要がある、との意見がありました。その他防災に関してご意見がありました（ハザードマップの認知・活用、各地域での講習、各避難場所の割り振りの見直しなど）

＜総括・その他（座長）＞

本日は大変お疲れ様でした。本日の交流会が後々役に立っていく、そんな交流会であればいいなとの思いで同席させていただきました。資料にある団体以外の皆様を紹介させていただきます（「まちすた　青柳」さん、「小鍋立ての会」さん、「箱山城桜ロードの会」さん）。

さきほど発表にもありましたように、かねてから「手間とお金」が問題になっていて膠着化しているくらい定番の課題になっている。地域の活動をするのにお金をいただくのがタブー視されがちだと思うのですが、個人的には大なり小なりお金をいただいて地域が回っていく、ということが自立した地域の一つの条件かと考えております。なかなか人件費まで生むのは難しいにしても、木材１本買うにもお金はかかります。その負担を参加者にしていただくことは、その地域や史跡が健全に継続していく意味では決して不健全なことではないと考えております。昨年「尾野山史跡巡り」に参加させていただきましたが、保険料の１００円だけで驚いたのですが、私の考えでは５００円いただいても良いのではないかと感じました。お金をいただく、という考えを持っても良いではないかと思いまして発表させていただきました。上田市でも「市政経営会議」というものがありまして、行政の中でも「経営」という言葉が出てきております。行政でもそういう時代ですので各地域が無料で続けていく、というのが無理があるのかと思っております。

現行の委員の任期もあともう少しですが、分科会の中で丸子地域の情報を出していけばいいじゃないか、こういう話になっております。現在のところ「農・商・工」という３つのカテゴリーについて情報発信していく有効な手段を模索しているところです。いずれ形になっていけば地域情報も載せることができたら良いなと、試案であるますが考えております。丸子地域にはいろんな地域資源がございますので、これからも活発に活動を続けていただいて、魅力ある地域にそれぞれ育てていただければと思っております。